



WFA ワークフローパックを **SCM** リポジトリと統合する OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

WFA ワークフローパックを SCM リポジトリと統合する.....	1
SCM に新しいワークフローパックをチェックインします.....	1
新しいバージョンの WFA ワークフローパックをチェックインします.....	2
SCM サーバから WFA ワークフローパックを更新します.....	2
既存の WFA ワークフローパックを SCM サーバにチェックインします.....	3
WFA ワークフローパックをエンティティから削除します.....	3
WFA ワークフローパックを SCM 内の以前のバージョンにロールバックします.....	4

WFA ワークフローパックを SCM リポジトリと統合する

OnCommand Workflow Automation（WFA）パックは、ソース管理管理（SCM）リポジトリと統合できます。

管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

GitHub、Perforce、SVN などの SCM ツールでは、SCM リポジトリサーバからコードをチェックアウトするためにローカルディレクトリをマッピングする必要があります。このローカルディレクトリマッピングは、_SCM クライアントの場所と呼ばれます。_SCM クライアントを設定して、ファイルシステムの場所をクライアント領域として指定する必要があります。

WFA サーバシステムに SCM クライアントを設定できます。SCM を使用するには、WFA サーバシステムにアクセスできる必要があります。

SCM に新しいワークフローパックをチェックインします

OnCommand Workflow Automation（WFA）を使用して新しいワークフローパックを作成し、ソース管理（SCM）にチェックインできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要があります、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

手順

1. Web ブラウザから * WFA * ウィンドウにログインします。
2. 新しいワークフローパックを作成します。

[Workflow Automation パックを作成します](#)

3. 作成したパックにエンティティを追加します。

[OnCommand Workflow Automation パックにエンティティを追加します](#)

4. [サーバーにエクスポート（Export to Server）] アイコンをクリックします。
5. [Export to Server Folder] ダイアログ・ボックスの **[Folder location at server system]** フィールドに 'SCM クライアントを含むサーバにパックを保存するファイル・システムの場所を入力します

パックまたはコンテンツを編集または再エクスポートするには、* ロック解除 * アイコンをクリックします。

6. SCM クライアントの場所で、パックの内容を SCM サーバにチェックインします。

新しいバージョンの WFA ワークフローパックをチェックインします

OnCommand Workflow Automation (WFA) でパックのバージョンを更新し、ソース管理 (SCM) サーバの新しい場所に更新したパックをチェックインできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要がある、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

手順

1. Web ブラウザから * WFA * ウィンドウにログインします。
2. [* コンテンツ管理 * (Content Management *)] > [* パック (* Packs)]
3. 「* パックの編集 *」アイコンをクリックします。
4. * パック <パック名> * ダイアログボックスの * バージョン * フィールドで、パックのバージョンを更新します。
5. [保存 (Save)] をクリックします。
6. パックレベルで * サーバーにエクスポート * アイコンをクリックします。
7. サーバーフォルダへのエクスポート * (* Export to Server Folder *) ダイアログボックスのサーバーシステムでのフォルダの場所 * (* Folder location at server system *) フィールドに、新しいファイルシステムの場所を入力します。

パックが以前に「C:\p4.cd\1.0.0」ファイルシステムの場所に保存されていた場合は、「C:\p4.cd\2.0.0」の場所に保存します。

8. SCM クライアントの場所で、パックの内容を SCM サーバの新しい場所にチェックインします。

パックが SCM サーバ内の「/depot/wfa/packs/cdot /1.0.0」パスに保存されていた場合は、「//depot/wfa/packs/cdot /2.0.0」などの別の場所に保存できます

SCM サーバから WFA ワークフローパックを更新します

ソース管理 (SCM) サーバのパックを更新し、更新されたパックを OnCommand Workflow Automation (WFA) にインポートできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要がある、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です

このタスクについて

SCM サーバのパックに変更や更新を加える場合、管理者やアーキテクトは SCM で提供される diff ツールを使用して競合を解決する必要があります。WFA は XML の差分ファイルを調整し、関連する変更のみを表示します。

パックをインポートする前に、WFA パックのコンテンツに加えられた変更について通知されます。

手順

1. Web ブラウザを使用して WFA ウィンドウにログインします。
2. 更新したパックを WFA にインポートします。

"WFA ワークフローパックをインポート"



WFA データベースに同じパックがすでに含まれている場合は、パックのコンテンツが上書きされます。

既存の **WFA** ワークフローパックを **SCM** サーバにチェックインします

既存のパックは OnCommand Workflow Automation （WFA）からソース管理管理（SCM）サーバにチェックインできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要があり、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

手順

1. Web ブラウザから * WFA * ウィンドウにログインします。
2. [* コンテンツ管理 * （ Content Management * ）] > [* パック （ * Packs ）]
3. [サーバーにエクスポート （ Export to Server ）] アイコンをクリックします。
4. サーバーフォルダへのエクスポート * （ * Export to Server Folder * ） ダイアログボックスのサーバーシステムでのフォルダの場所 * （ * Folder location at server system * ） フィールドに、サーバーにパックが保存されているサーバーフォルダの場所を入力します。

これにより、SCM クライアントが作成されるファイルシステム内の展開形式でパックがエクスポートされます。

5. SCM クライアントの場所で、パックの内容を SCM サーバにチェックインします。
6. SCM で提供される diff ツールを使用して、SCM 版と比較して変更内容を確認します。

WFA ワークフローパックをエンティティから削除します

OnCommand Workflow Automation （WFA）のエンティティからパックを削除し、更新されたパックをソース管理（SCM）サーバにチェックインできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要があり、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

このタスクについて

次のエンティティからパックを削除できます。

- ワークフロー
- ファインダ

- フィルタ
- コマンド
- 機能
- テンプレート
- スキーム
- 辞書
- データソースの種類
- リモートシステムタイプ
- キャッシュクエリ
- カテゴリ

手順

1. Web ブラウザから * WFA * ウィンドウにログインします。
2. * ワークフローデザインポータルで、削除するエンティティに移動し、 * <エンティティ> * をクリックします。
3. [パックから削除 (Remove from Pack)] アイコンをクリックします。
4. パックから削除 (* Remove from Pack) <エンティティ> * (Entity > *) ダイアログボックスで、そのエンティティから削除するパックを選択します。
5. [OK] をクリックします。
6. [*Packs] タブをクリックします。
7. [サーバーにエクスポート (Export to Server)] アイコンをクリックします。
8. サーバーフォルダへのエクスポート * (* Export to Server Folder *) ダイアログボックスのサーバーシステムでのフォルダの場所 * (* Folder location at server system *) フィールドに、サーバーにパックが保存されているサーバーフォルダの場所を入力します。

これにより、SCM クライアントが作成されるファイルシステム内に展開形式でパックがエクスポートされます。

9. SCM クライアントの場所で、パックの内容を SCM サーバにチェックインします。
10. SCM で提供される diff ツールを使用して、SCM 版と比較して変更内容を確認します。

WFA ワークフローパックを **SCM** 内の以前のバージョンにロールバックします

パックは、Source Control Management (SCM ; ソース管理管理) で以前のバージョンにロールバックして、OnCommand Workflow Automation (WFA) にインポートできます。

必要なもの

SCM をセットアップする必要があり、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

手順

1. SCM クライアントの場所で、SCM ツールを使用して、ファイルシステムの場所にある以前のバージョンにパックをロールバックします。

SCM クライアントは、必要な変更番号と完全に同期されます。

2. Web ブラウザを使用して WFA ウィンドウにログインします。
3. 更新したパックを WFA にインポートします。

"WFA ワークフローパックをインポート"



これにより、WFA データベースが以前のバージョンにロールバックされます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。